

会津平坦部におけるコシヒカリ(疎植栽培)の生育目標値

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

水稲 - 水稲 - 生育診断予測、収量構成要素

2 担当者

新妻和敏・肥田野善隆

3 要旨

水稲「コシヒカリ」を栽植密度 11 株/m²、15 株/m²で栽培した場合の幼穂形成始期、成熟期の生育目標値を策定した(表 1)。

- (1) 検査等級 1 等、玄米タンパク質含有率の上限を 6.0%(水分 15%換算)とした場合の目標収量を、慣行の栽植密度での収量並の 60～66kg/a とした。
- (2) 目標収量を得るための籾数は、290～320 百粒/m²、穂数は、11 株/m²では 350～390 本/m²、15 株/m²では 380～420 本/m²であった。
- (3) 目標の穂数、籾数を確保するための幼穂形成期始期の茎数、葉色(SPAD502)は、11 株/m²では、450～550 本/m²、33～37、15 株/m²では、520～610 本/m²、31～34 であった。
- (4) 倒伏を概ね 200 以下にするための稈長は 95cm 以下であり、そのための、基肥窒素量は 0.3kg/a、幼穂形成期始期の草丈は 70～75cm であった。

表 1 コシヒカリ疎植栽培における生育目標値(2013年1月作成)

時期	項目	栽植密度	
		11株/m ²	15株/m ²
幼穂形成始期	草丈(cm)	70～75	70～75
	茎数(本/m ²)	460～540	520～600
	葉色(SPAD502)	34～37	31～34
成熟期	玄米タンパク質含有率(%)	6.0%以下	
	検査等級	1等	
	精玄米重(kg/a)	60～66	
	籾数(粒/穂)	80～85	75～80
	(百粒/m ²)	290～320	
	登熟歩合(%)	85以上	
	千粒重(g)	22～23	
	稈長(cm)	95以下	
	穂数(本/m ²)	350～390	380～420
	倒伏(0～400)	200以下	

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～24年度
- (2) 研究課題名 会津地域における疎植栽培法の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度～24年度センター試験成績概要